

















































【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松井 博子 <令和3年4月>	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援基礎実習 母性生活支援技術演習 母性生活支援実習 成育療養生活支援実習 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習 助産技術演習Ⅰ 助産技術演習Ⅱ 助産実習
専	助教	宮崎 志保 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 大学基礎演習(看護基礎ゼミ) 療養生活支援基礎実習 精神療養生活支援技術演習 在宅療養生活支援実習 精神療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
専	助教	吉本 和樹 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援技術演習Ⅱ 療養生活支援基礎実習 療養生活支援実習Ⅱ(慢性期) 療養生活支援実習Ⅲ(老化に伴う健康課題) 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
兼任	教授	井川 好二 <令和2年4月> 博士(教育学)	上級英語Ⅲ(医療英語)
兼任	教授	岩尾 洋 <平成31年4月> 医学博士	仏教Ⅰ(瞑想) 仏教Ⅱ(写経) 薬理学
兼任	教授	奥野 孝昭 <平成31年4月> 体育学士	レクリエーション論
兼任	教授	奥野 暢通 <平成31年4月> 教育学修士	スポーツⅠ スポーツⅡ 体育講義

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松井 博子 <令和3年4月>	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援基礎実習 母性生活支援技術演習 母性生活支援実習 成育療養生活支援実習 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習 助産技術演習Ⅰ 助産技術演習Ⅱ 助産実習
専	助教	宮崎 志保 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 大学基礎演習(看護基礎ゼミ) 療養生活支援基礎実習 精神療養生活支援技術演習 在宅療養生活支援実習 精神療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
専	助教	吉本 和樹 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援技術演習Ⅱ 療養生活支援基礎実習 療養生活支援実習Ⅱ(慢性期) 療養生活支援実習Ⅲ(老化に伴う健康課題) 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
兼任	教授	井川 好二 <令和2年4月> 博士(教育学)	上級英語Ⅲ(医療英語)
兼任	教授	岩尾 洋 <平成31年4月> 医学博士	和の精神Ⅰ 和の精神Ⅱ 薬理学
兼任	教授	奥野 孝昭 <平成31年4月> 体育学士	レクリエーション論
兼任	教授	奥野 暢通 <平成31年4月> 教育学修士	体育講義

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松井 博子 <令和3年4月>	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援基礎実習 母性生活支援技術演習 母性生活支援実習 成育療養生活支援実習 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習 助産技術演習Ⅰ 助産技術演習Ⅱ 助産実習
専	助教	宮崎 志保 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 大学基礎演習(看護基礎ゼミ) 療養生活支援基礎実習 精神療養生活支援技術演習 在宅療養生活支援実習 精神療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
専	助教	吉本 和樹 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援技術演習Ⅱ 療養生活支援基礎実習 療養生活支援実習Ⅱ(慢性期) 療養生活支援実習Ⅲ(老化に伴う健康課題) 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
兼任	講師	戸部 史子 <令和2年4月> 修士(英文学)	上級英語Ⅲ(医療英語)
兼任	講師	若林 英男 <令和2年4月> 学士(経済学)	上級英語Ⅲ(医療英語)
兼任	教授	岩尾 洋 <平成31年4月> 医学博士	和の精神Ⅰ 和の精神Ⅱ 薬理学
兼任	教授	奥野 孝昭 <平成31年4月> 体育学士	レクリエーション論
兼任	教授	奥野 暢通 <平成31年4月> 教育学修士	体育講義

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松井 博子 <令和3年4月>	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援基礎実習 母性生活支援技術演習 母性生活支援実習 成育療養生活支援実習 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習 助産技術演習Ⅰ 助産技術演習Ⅱ 助産実習
専	助教	宮崎 志保 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 大学基礎演習(看護基礎ゼミ) 療養生活支援基礎実習 精神療養生活支援技術演習 在宅療養生活支援実習 精神療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
専	助教	吉本 和樹 <平成31年4月> 修士(看護学)	初期実習Ⅰ(生活をみる) 初期実習Ⅱ(コミュニケーションの実践) 療養生活支援技術演習Ⅱ 療養生活支援基礎実習 療養生活支援実習Ⅱ(慢性期) 療養生活支援実習Ⅲ(老化に伴う健康課題) 在宅療養生活支援実習 課題研究 看護管理実習 統合実習
兼任	講師	中田 貴真 <令和3年4月> 修士(現代語現代文学)	上級英語Ⅲ(医療英語) 上級英語Ⅳ(英語論文読解)
兼任(学部長)	教授	岩尾 洋 <平成31年4月> 医学博士	和の精神Ⅰ 和の精神Ⅱ
兼任	講師	松村 靖夫 <令和3年4月> 医学博士	薬理学
兼任	教授	奥野 孝昭 <平成31年4月> 体育学士	レクリエーション論







【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤谷 厚生 <平成31年4月> 文学修士
		仏教概説 仏教実践演習 聖徳太子概説 哲学入門 現代社会と仏教
兼任	教授	松本 珠希 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		上級英語Ⅳ(英語論文読解) 疫学 国際保健学
兼任	教授	茂木 洋 <平成31年4月> 教育学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 臨床心理学
兼任	教授	八木 成和 <平成31年4月> 教育学修士
		統計学 保健統計学
兼任	教授	矢羽野 隆男 <平成31年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤谷 厚生 <平成31年4月> 文学修士
		仏教概説 仏教実践演習 聖徳太子概説 現代社会と仏教
兼任	講師	竹中 利彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学入門
兼任	教授	松本 珠希 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		上級英語Ⅳ(英語論文読解) 疫学 国際保健学
兼任	教授	茂木 洋 <平成31年4月> 教育学修士
		臨床心理学
兼任	講師	中村 隆行 <平成31年4月> 修士(文学)
		心理学Ⅰ
兼任	講師	田中 秀男 <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学Ⅱ
兼任	教授	八木 成和 <平成31年4月> 教育学修士
		統計学 保健統計学
兼任	講師	山上 恵 <平成31年4月> 修士(中国文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤谷 厚生 <平成31年4月> 文学修士
		仏教概説 仏教実践演習 聖徳太子概説 現代社会と仏教
兼任	准教授	奥羽 充規 <令和2年4月> 修士(教育学)
		仏教実践演習
兼任	講師	西岡 秀爾 <令和2年4月> 修士(仏教学)
		仏教実践演習
兼任	講師	竹中 利彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学入門
兼任	教授	松本 珠希 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		疫学 国際保健学
兼任	教授	茂木 洋 <平成31年4月> 教育学修士
		臨床心理学
兼任	講師	中村 隆行 <平成31年4月> 修士(文学)
		心理学Ⅰ
兼任	講師	田中 秀男 <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学Ⅱ
兼任	講師	齊藤 徹介 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		統計学
兼任	講師	山下 真宏 <令和2年4月> 学士(保険学)
		保健統計学
兼任	講師	山上 恵 <平成31年4月> 修士(中国文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	四辻 厚 <令和3年4月> 学士(法学)
		現代社会と人権
兼任	教授	藤谷 厚生 <平成31年4月> 文学修士
		仏教概説 仏教実践演習 聖徳太子概説 現代社会と仏教
兼任	准教授	奥羽 充規 <令和2年4月> 修士(教育学)
		仏教実践演習 上級英語Ⅲ(医療英語) 上級英語Ⅳ(英語論文読解)
兼任	講師	西岡 秀爾 <令和2年4月> 修士(仏教学)
		仏教実践演習
兼任	講師	竹中 利彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学入門 情報社会の法と倫理(リテラシー含む)
兼任	教授	松本 珠希 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		疫学 国際保健学
兼任	教授	茂木 洋 <平成31年4月> 教育学修士
		臨床心理学
兼任	講師	中村 隆行 <平成31年4月> 修士(文学)
		心理学Ⅰ
兼任	講師	田中 秀男 <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学Ⅱ
兼任	講師	齊藤 徹介 <令和2年4月> 修士(人間科学)
		統計学
兼任	講師	山上 恵 <平成31年4月> 修士(中国文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	□ 先姫 <平成31年4月> 博士(商学)	コリア語 I コリア語 II
兼任	教授	和田 謙一郎 <平成31年4月> 法学修士	社会保障制度
兼任	准教授	上野 淳子 <平成31年4月> 博士(人間科学)	ジェンダーの社会学
兼任	准教授	春名 麻季 <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 法学入門 情報社会の法と倫理(リテラシー含む)
兼任	准教授	吉田 康成 <平成31年4月> 博士(学術)	スポーツ I スポーツ II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 由隆 <平成31年4月> 博士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	教授	□ 先姫 <平成31年4月> 博士(商学)	コリア語 I コリア語 II
兼任	教授	和田 謙一郎 <平成31年4月> 法学修士	社会保障制度
兼任	講師	洪 ジョンウン <平成31年4月> 修士(文学)	ジェンダーの社会学
兼任	准教授	春名 麻季 <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 情報社会の法と倫理(リテラシー含む)
兼任	講師	補田 徹也 <平成31年4月> 学士(法学)	法学入門
兼任	講師	高 希麗 <平成31年4月> 修士(法学)	法学入門
兼任	講師	越智 祐光 <平成31年4月> 修士(教育学)	スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	山下 新樹 <平成31年4月> 修士(人間文化学)	スポーツ I スポーツ II

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	□ 先姫 <平成31年4月> 博士(商学)	コリア語 I コリア語 II
兼任	教授	和田 謙一郎 <平成31年4月> 法学修士	社会保障制度
兼任	講師	洪 ジョンウン <平成31年4月> 修士(文学)	ジェンダーの社会学
兼任	教授	春名 麻季 <平成31年4月> 博士(法学)	日本国憲法 情報社会の法と倫理(リテラシー含む)
兼任	講師	森 晓洋 <令和2年4月> 修士(法学)	法学入門
兼任	講師	越智 祐光 <平成31年4月> 修士(教育学)	スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	山下 新樹 <平成31年4月> 修士(人間文化学)	スポーツ I スポーツ II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鄭 貞美 <令和3年4月> 博士(文学)	コリア語 I コリア語 II
兼任	教授	和田 謙一郎 <平成31年4月> 法学修士	社会保障制度
兼任	講師	洪 ジョンウン <平成31年4月> 修士(文学)	ジェンダーの社会学
兼任	講師	森 晓洋 <令和2年4月> 修士(法学)	法学入門
兼任	講師	竹内 大樹 <令和3年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	越智 祐光 <平成31年4月> 修士(教育学)	スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	山下 新樹 <平成31年4月> 修士(人間文化学)	スポーツ I スポーツ II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	五十川 飛暎 <平成31年4月> 博士(社会学)	環境の科学
兼任	講師	坂本 光徳 <平成31年4月> 博士(人間福祉学)	社会福祉行政 保健行政論
兼任	講師	武田 盛夫 <平成31年4月> 社会学士	老人福祉論
兼任	講師	塚原 和人 <平成31年4月> 経済学士	情報システム
兼任	講師	橋本 智也 <平成31年4月> 博士(文学)	データ収集分析
兼任	講師	吉田 祐一郎 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	児童福祉論
兼任	講師	ロバート ケリガン <平成31年4月> 修士(英語教育法学)	上級英語 I 上級英語 II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	塩田 正之 <平成31年4月> 博士(農学)	生命の科学 環境の科学
兼任	講師	坂本 光徳 <平成31年4月> 博士(人間福祉学)	社会福祉行政
兼任	講師	秋山 明子 <平成31年4月> 博士(保健学)	保健行政論
兼任	講師	武田 盛夫 <平成31年4月> 社会学士	老人福祉論
兼任	講師	塚原 和人 <平成31年4月> 経済学士	情報システム
兼任	講師	橋本 智也 <平成31年4月> 博士(文学)	データ収集分析
兼任	講師	明石 隆行 <平成31年4月> 修士(社会学)	児童福祉論

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	塩田 正之 <平成31年4月> 博士(農学)	生命の科学 環境の科学
兼任	講師	坂本 光徳 <平成31年4月> 博士(人間福祉学)	社会福祉行政
兼任	講師	林 正幸 <令和2年4月> 博士(医学)	保健行政論
兼任	講師	武田 盛夫 <平成31年4月> 社会学士	老人福祉論
兼任	講師	塚原 和人 <平成31年4月> 経済学士	情報システム
兼任	准教授	浅田 昇平 <令和2年4月> 修士(人間科学)	データ収集分析
兼任	講師	渡邊 慶一 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	児童福祉論

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	塩田 正之 <平成31年4月> 博士(農学)	生命の科学 環境の科学
兼任	講師	寺中 直人 <令和3年4月> 修士(経済学)	社会福祉行政
兼任	講師	林 正幸 <令和2年4月> 博士(医学)	保健行政論 保健統計学
兼任	講師	玉置 好徳 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)	老人福祉論
兼任	講師	塚原 和人 <平成31年4月> 経済学士	情報システム
兼任	准教授	浅田 昇平 <令和2年4月> 修士(人間科学)	データ収集分析
兼任	講師	渡邊 慶一 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	児童福祉論



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	政治学
兼任	講師	木原 隆典 <平成31年9月> 修士(学術)	科学技術と社会 先端技術
兼任	講師	角 俊幸 <平成31年9月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	田倉 智之 <令和3年4月> 博士(医学)	医療と経済
兼任	講師	中島 敦子 <令和2年9月> 博士(保健看護学)	養護概説 健康相談
兼任	講師	南 裕子 <令和2年9月> 看護学博士	キャリアマネジメント
兼任	講師	南谷 惠敬 <平成31年4月> 修士(芸術学)	仏教芸術入門
兼任	講師	古角 好美 <令和2年4月> 修士(教育学)	学校保健論 養護実習
兼任	教授	山本 誠 <平成31年4月> 文学修士	文化人類学

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	政治学
兼任	講師	木原 隆典 <平成31年9月> 修士(学術)	科学技術と社会 先端技術
兼任	講師	角 俊幸 <平成31年9月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	田倉 智之 <令和3年4月> 博士(医学)	医療と経済
兼任	講師	中島 敦子 <令和2年9月> 博士(保健看護学)	養護概説 健康相談
兼任	講師	南 裕子 <令和2年9月> 看護学博士	キャリアマネジメント
兼任	講師	南谷 惠敬 <平成31年4月> 修士(芸術学)	仏教芸術入門
兼任	講師	古角 好美 <令和2年4月> 修士(教育学)	学校保健論 養護実習
兼任	教授	山本 誠 <平成31年4月> 文学修士	文化人類学

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	政治学
兼任	講師	木原 隆典 <平成31年9月> 修士(学術)	科学技術と社会 先端技術
兼任	講師	角 俊幸 <平成31年9月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	田倉 智之 <令和3年4月> 博士(医学)	医療と経済
兼任	講師	中島 敦子 <令和2年9月> 博士(保健看護学)	養護概説 健康相談
兼任	講師	南 裕子 <令和2年9月> 看護学博士	キャリアマネジメント
兼任	講師	南谷 惠敬 <平成31年4月> 修士(芸術学)	仏教芸術入門
兼任	講師	古角 好美 <令和2年4月> 修士(教育学)	学校保健論 養護実習
兼任	教授	山本 誠 <平成31年4月> 文学修士	文化人類学

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	政治学
兼任	講師	木原 隆典 <平成31年9月> 修士(学術)	科学技術と社会 先端技術
兼任	講師	角 俊幸 <平成31年9月> 博士(医学)	疾病と治療Ⅱ
兼任	講師	田倉 智之 <令和3年4月> 博士(医学)	医療と経済
兼任	講師	中島 敦子 <令和2年9月> 博士(保健看護学)	養護概説 健康相談 <b>養護実習</b>
兼任	講師	南 裕子 <令和2年9月> 看護学博士	
兼任	講師	南谷 惠敬 <平成31年4月> 修士(芸術学)	仏教芸術入門
兼任	講師	古角 好美 <令和2年4月> 修士(教育学)	
兼任	講師	<b>古川 惠美</b> <b>&lt;令和3年4月&gt;</b> <b>博士(保健看護学)</b>	<b>学校保健論</b>
兼任	教授	<b>田原 範子</b> <b>&lt;令和3年4月&gt;</b> <b>文学博士</b>	<b>文化人類学</b>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・岩尾洋兼担教授の担当授業科目名を建学の精神に基づき教育をより推進するために改称
- ・教育的効果を考慮し、奥野暢通兼担教授の担当授業科目「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」を岡部修一兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、笠原幸子兼担教授の担当授業科目「社会福祉概論」を脇田寛史兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、加藤彰彦兼担教授の担当授業科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」を横道朝子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、斎藤敏之兼担教授の担当授業科目「情報処理演習Ⅰ」を梅原恵子兼任講師へ変更
- また、教育内容充実のため、「情報処理演習Ⅰ」の担当教員に酒井真紀兼任講師を追加
- ・教育内容充実のため、「情報処理演習Ⅱ」の担当教員に酒井真紀兼任講師、向井由美子兼任講師を追加
- ・教育内容充実のため、「疾病と治療Ⅱ」の担当教員に仲谷和記兼担教授を追加
- ・教育的効果を考慮し、藤原厚生兼担教授の担当授業科目「哲学入門」を竹中利彦兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、茂木洋兼担教授の担当授業科目「心理学Ⅰ」を中村隆行兼任講師へ変更
- また、「心理学Ⅱ」を田中秀男兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、矢野野隆兼担教授の担当授業科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を山上恵兼任講師へ変更。
- また、教育内容充実のため、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」の担当教員に佐藤由隆兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、上野淳子兼担教授の担当授業科目「ジェンダーの社会学」を洪ジョンウン兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、春名麻季兼担教授の担当授業科目「法学入門」を植田徹也兼任講師へ変更。
- また、教育内容充実のため、「法学入門」の担当教員に高希麗兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、吉田康成兼担教授の担当授業科目「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」を趙智祐光兼任講師へ変更
- また、教育内容充実のため、「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」の担当教員に山下新樹兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、仲谷和記兼担教授の担当授業科目「生命の科学」を塩田正之兼任講師へ変更
- また、五十川飛燕兼担講師の担当授業科目「環境の科学」を塩田正之兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、坂本光徳兼担教授の担当授業科目「保健行政論」を秋山明子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、吉田祐一郎兼担講師の担当授業科目「児童福祉論」を明石隆行兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、ロバートケリガン兼担講師の担当授業科目「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」をロナルドバンデン兼任講師へ変更
- また、教育内容充実のため、「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」の担当教員にカートホーバソン兼任講師、田中達也兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、飯田陽子兼任講師の担当授業科目「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を柴亜矢子兼任講師へ変更

【令和2年度】

- ・教育内容充実のため、山本あい子専任教授の担当授業科目に「初期実習Ⅰ」「初期実習Ⅱ」を追加（令和2年2月AC教員審査済）
- ・令和2年4月1日、乗越千枝専任教授就任。担当授業科目に「初期実習Ⅰ」「初期実習Ⅱ」「大学基礎演習」「在宅療養生活支援技術演習」「在宅療養生活支援実習」「家族の健康課題と生活支援」「課題研究」「統合実習」を追加（令和2年2月AC教員審査済）
- また、乗越千枝専任教授の担当授業科目に「生活健康論」を追加（令和2年9月AC教員審査受審予定）
- ・坂口京子専任准教授が学位を取得したため、修士（社会福祉学）から博士（看護学）へ変更
- また、教育内容充実のため、担当授業科目に「生活支援論」を追加（令和2年9月AC教員審査受審予定）
- ・教育内容充実のため、西田真寿美専任教授の担当授業科目に「看護概論」を追加（令和2年9月AC教員審査受審予定）
- ・吉川有美准教授が学位を取得したため、修士（看護学）から博士（人間健康科学）へ変更
- ・教育的効果を考慮し、井川好二兼担教授の担当授業科目「上級英語Ⅲ」を戸部史子兼任講師へ変更
- また、教育内容充実のため、若林英男兼任講師、田中達也兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、横道朝子兼任講師の担当授業科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」をベレパトリス兼任講師へ変更
- ・教育内容充実のため、「地域活性化概論」の担当教員に伊藤重男兼担教授、津崎充彦兼担講師、吉田祐一郎兼担教授、天野了一兼担教授、隅田孝兼担教授を追加
- ・教育的効果を考慮し、斎藤敏之兼担教授の担当授業科目「情報処理演習Ⅱ」を矢倉麻里子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、酒井真紀兼任講師の担当授業科目「情報処理演習Ⅱ」を梅原恵子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、向井由美子兼任講師の担当授業科目「情報処理演習Ⅱ」を高田朋子兼任講師へ変更
- ・教育内容充実のため、「仏教実践演習」の担当教員に奥羽充規兼担教授、西岡秀爾兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、松本珠希兼担教授の「上級英語Ⅳ（英語論文読解）」をロナルドバンデン兼任講師へ変更
- また、教育内容充実のため、尾池祥子兼任講師、田中達也兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、八木成和兼担教授の担当授業科目「統計学」を齊藤僚介兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、八木成和兼担教授の担当授業科目「保健統計学」を山下真宏兼任講師へ変更
- ・教員の負担軽減のため、佐藤由隆兼任講師の担当授業科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を削除
- ・教員の負担軽減のため、植田徹也兼任講師の担当授業科目「法学入門」を削除
- ・教育的効果を考慮し、高希麗兼任講師の担当授業科目「法学入門」を森暁洋兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、秋山明子兼任講師の担当授業科目「保健行政論」を林正幸兼任講師へ変更
- ・退職に伴い、橋本智也兼担講師の担当授業科目「データ収集分析」を浅田昇平兼担教授へ変更
- ・教育的効果を考慮し、明石隆行兼任講師の担当授業科目「児童福祉論」を渡邊慶一兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、カートホーバソン兼任講師の担当授業科目「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」を尾池祥子兼任講師へ変更
- ・松田常美専任講師が学位を取得したため、修士（医学）から博士（医学）へ変更
- ・春名麻季氏の職名を准教授から教授へ変更する

【令和3年度】

- ・教育内容充実のため、亀井線専任准教授の担当授業科目に「災害看護支援論」を追加（令和2年5月AC教員審査済）
- ・教育内容充実のため、西元康世専任講師の担当授業科目に「成育生活支援論」を追加（令和2年12月AC教員審査済）
- ・教育内容充実のため、藤澤盛樹専任講師の担当授業科目に「成育生活支援論」を追加（令和2年12月AC教員審査済）
- ・教育内容充実のため、「精神保健」の担当教員に小鳥葉子兼任講師を追加
- ・令和3年4月1日、松橋美奈専任教就任。また、西井尚子専任助教の退職に伴い、担当授業科目に「初期実習Ⅰ（生活をみる）」「初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）」「療養生活支援基礎実習」「精神療養生活支援技術演習」「精神療養生活支援実習」「看護管理実習」「統合実習」を変更（令和2年12月AC教員審査済）。「在宅療養生活支援実習」「課題研究」を削除
- ・和田（吉川）恵美子専任教授の退職に伴い、担当授業科目「看護概論」を高橋（田代）照子兼担教授へ変更
- ・和田（吉川）恵美子専任教授の退職に伴い、担当授業科目「生活支援論」を坂口京子専任准教授へ変更（令和2年9月AC教員審査済）
- ・退職に伴い、和田（吉川）恵美子専任教授の担当授業科目「初期実習Ⅰ（生活をみる）」「初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）」「大学基礎演習（看護基礎ゼミ）」「フィジカルアセスメント」「生活支援技術演習」「療養生活支援基礎実習」「課題研究」「看護管理実習」「統合実習」を削除
- ・教育的効果を考慮し、岩尾洋兼担教授の担当授業科目「薬理学」を松村晴夫兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、脇田寛史兼任講師の担当授業科目「社会福祉概論」を姜美香兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、ベレパトリス兼任講師の担当授業科目「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」を岡田純子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、原順子兼担教授の担当授業科目「障害者福祉」を大西敏浩兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、平川茂兼担教授の担当授業科目「現代社会と人権」を四辻厚兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、戸部史子兼任講師、田中達也兼任講師、若林英男兼任講師の「上級英語Ⅲ（医療英語）」を奥羽充規兼担教授、中田貴真兼担講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、ロナルドバンデン兼任講師、田中達也兼任講師、尾池祥子兼任講師の「上級英語Ⅳ（英語論文読解）」を奥羽充規兼担教授、中田貴真兼担講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、山下真宏兼任講師の担当授業科目「保健統計学」を林正幸兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、口先姫兼担教授の担当授業科目「コリア語Ⅰ」「コリア語Ⅱ」を鄭貞美兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、春名麻季兼担教授の担当授業科目「日本国憲法」を竹内大樹兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、春名麻季兼担教授の担当授業科目「情報社会の法と倫理（リテラシー含む）」を竹中利彦兼任講師へ変更
- ・教育内容充実のため、「スポーツⅠ」の担当教員に森祐貴兼任講師を追加
- ・教育的効果を考慮し、坂本光徳兼担講師の担当授業科目「社会福祉行政」を寺中真人兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、武田盛夫兼担講師の担当授業科目「老人福祉論」を玉置好徳兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、ロナルドバンデン兼任講師、田中達也兼任講師、尾池祥子兼任講師の「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」を上野舞斗兼担助教、齊藤雅子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、柴亜矢子兼任講師の担当授業科目「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を塩見浩司兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、今中基晴兼任講師の担当授業科目「周産期医学」を和田申磨兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、古角好美兼任講師の担当授業科目「学校保健論」を古川恵美兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、古角好美兼任講師の担当授業科目「看護実習」を中島敦子兼任講師へ変更
- ・教育的効果を考慮し、梅原恵子兼任講師、酒井真紀兼任講師の担当授業科目「情報処理演習Ⅰ」を東隆史兼担教授へ変更
- ・教育的効果を考慮し、梅原恵子兼任講師、高田朋子兼任講師、矢倉麻里子兼任講師の担当授業科目「情報処理演習Ⅱ」を岡辺広樹兼担教授、本多佑希兼担助教へ変更
- ・教育的効果を考慮し、岡谷兼任講師の担当授業科目「看護システムマネジメント」を増野園恵兼任講師へ変更
- ・山本誠兼担教授の退職に伴い、担当授業科目「文化人類学」を田原範子兼担教授へ変更
- ・池内香織専任准教授が学位を取得したため、修士（看護学）から博士（人間健康科学）へ変更
- ・藤澤盛樹専任講師が学位を取得したため、修士（看護学）から博士（教育学）へ変更
- ・天野一氏の職名を准教授から教授へ変更する
- ・小出恵子准教授の退職に伴い、「保健行動論」「産業保健論」は兼任もしくは兼任教員を充てる予定。「地域生活支援技術論」は兼任講師として担当へ変更する。また、「初期実習Ⅰ（生活をみる）」「初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）」「大学基礎演習（看護基礎ゼミ）」「療養生活支援基礎実習」「在宅療養生活支援実習」「地域生活支援技術演習Ⅰ」「地域生活支援技術演習Ⅱ」「健康教育論」「課題研究」「看護管理実習」「統合実習」「地域生活支援実習」を削除
- ・令和3年4月1日に岡谷恵子氏の採用に伴い、兼任講師から兼担教授へ変更。
- ・奥野暢通兼担教授の退職に伴い、担当授業科目「体育講義」を未開講
- ・南裕子兼任講師の担当授業科目「キャリアマネジメント」の担当教員は、兼任もしくは兼任教員に変更する予定

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。  
・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	7	6	7	30	2	10	6	6	7	29	0
(9)	(6)	(6)	(5)	(26)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	6	6	7	29	2	11	6	6	7	30	2
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	6	6
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{29}{30} = \boxed{96.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{29} = \boxed{20.68} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	和田（吉川）恵美子	R2.6	必修	生活健康論	①	R2.6.30付け一身上の都合のため辞任（3）	
				必修	看護概論	②		
				必修	生活支援論	①		
				必修	初期実習Ⅰ（生活をみる）	①		
				必修	初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）	①		
				必修	大学基礎演習（看護基礎ゼミ）	①		
				必修	フィジカルアセスメント	①		
				必修	生活支援技術演習	①		
				必修	療養生活支援基礎実習	①		
				必修	課題研究	①		
2	准教授	小出 恵子	R3.3	必修	看護管理実習	①	R3.3.31付け一身上の都合のため辞任（3）	
				必修	統合実習	①		
				選択	保健行動論	②		
				必修	初期実習Ⅰ（生活をみる）	①		
				必修	初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）	①		
				必修	大学基礎演習（看護基礎ゼミ）	①		
				必修	療養生活支援基礎実習	①		
				選択	産業保健論	②		
				必修	在宅療養生活支援実習	①		
				選択	地域生活支援技術論	②		
				選択	地域生活支援技術演習Ⅰ	①		
				選択	地域生活支援技術演習Ⅱ	①		
				選択	健康教育論	①		
				必修	課題研究	①		
3	助教	西井 尚子	R2.9	必修	看護管理実習	①	R2.9.30付け一身上の都合のため辞任（3）	
				必修	統合実習	①		
				必修	初期実習Ⅰ（生活をみる）	①		
				必修	初期実習Ⅱ（コミュニケーションの実践）	①		
				必修	療養生活支援基礎実習	①		
				必修	精神療養生活支援技術演習	①		
				必修	在宅療養生活支援実習	①		
				必修	精神療養生活支援実習	①		
				必修	課題研究	①		
				必修	看護管理実習	①		
必修	統合実習	①						
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	29	科目	必修	9	科目	
		選択	7	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	36	科目	計	9	科目	
必修	1	科目	必修	1	科目	必修	19	科目
選択	3	科目	選択	3	科目	選択	4	科目
自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
計	4	科目	計	4	科目	計	23	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	29 科目	必修	9 科目	必修	1 科目	必修	19 科目
	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	3 科目	選択	4 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	36 科目	計	9 科目	計	4 科目	計	23 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{30} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

AC教員審査を受審した専任教員に変更するほか、必要に応じ令和3年度内にAC教員審査を受審(中)するため、特に問題はないと考える。また、学生へは履修要覧、時間割等で十分な周知を図っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	入学時の新入生オリエンテーションや各学年の履修ガイダンス等で、保健師コースを希望する学生の不利益とならないよう、養護教諭2種免許状を取得するために必要な、教育職員免許法施行規則第66条の6で定める4科目を明示し、丁寧に説明を行うこと。	遵守事項 履修要覧に、保健師コース希望の学生が養護教諭2種免許状を取得するためには、教育職員免許法施行規則第66条の6で定められている4科目を修得する必要があることを記載するとともに、新入生オリエンテーション及び履修ガイダンス等にて、丁寧に説明した。 (元)	履行済 各学期の開始時に実施するオリエンテーションなどで、引き続き丁寧に説明していく。(元)
	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	遵守事項 完成年度以降の後任補充については、分野や年齢構成等について検討を行い、若手教員を採用するように方針を固めた。(元)	履行済 左記の方針に基づき、採用計画をすすめる。(元)
	教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	遵守事項 教員の補充を必要とする科目は、令和3年度に開講される科目のため、開講に向けて準備をすすめている。 (元) 教員の補充を必要とされた1授業科目について、専任教員1名がAC教員審査を受審し、令和2年2月に「可」の判定を受けた。これにより、科目開講時(令和2年度)までに専任教員を配置することができた。 (2)	履行済 令和2年度早期のAC教員審査を受け、専任教員を確保する。(元)
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

本学では、組織的な教育の改善に向け「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置し、FDの企画立案事項の審議・推進を図ることを目的として活動している。

また、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため「スタッフ・ディベロップメント委員会」を設置し、委員会を中心として大学職員の資質向上を図っている。

なお、大学全体としては、大学の現状や課題などを共通認識とすることや意識改革を図るため、教員と職員が同時に参加する研修会やワークショップ、人権研修会などを開催している。

また、看護学部では学部独自のFD委員会を設置している。FD委員会の構成は、委員長1名、副委員長1名、委員3名の計7名である。委員長は全学FD委員会の構成員であり、大学全体と看護学部の連携・協働を担っている。看護学部では、看護学の基盤・土台となる理論や技術をシミュレーション教育などアクティブ・ラーニングを多く取り入れながら、知識・技術・態度の統合を促している。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度の開催：

ファカルティ・ディベロップメント委員会（4回開催）

第1回：令和2年 6月19日（出席者25名）

第2回：令和2年10月21日（出席者20名）

第3回：令和2年11月19日（出席者17名）

第4回：令和3年 3月25日（出席者23名）

看護学部FD委員会

第1回：令和2年 5月13日（出席者5名）

第2回：令和2年 6月16日（出席者5名）

第3回：令和2年 7月 7日（出席者5名）

第4回：令和2年 8月 5日（出席者5名）

第5回：令和2年 9月14日（出席者5名）

第6回：令和2年10月22日（出席者5名）

第7回：令和2年11月 9日（出席者5名）

第8回：令和3年 1月20日（出席者5名）

第9回：令和3年 3月 3日（出席者5名）

第10回：令和3年 3月25日（出席者5名）

スタッフ・ディベロップメント委員会（1回開催）

第1回：令和2年10月29日（出席者11名）

c 委員会の審議事項等

【ファカルティ・ディベロップメント委員会】

- (1) 授業内容、方法および、評価に関する事項
- (2) 授業の改善に関する事項
- (3) その他、FDの目的達成のために必要な事項

【スタッフ・ディベロップメント委員会】

- (1) SDの企画立案に関する事項
- (2) SDの推進計画に関する事項
- (3) SDの実施に関する事項
- (4) その他SD推進に必要な事項

【看護学部FD委員会】

- (1) シミュレーション教育に関する研修企画に関する事項
- (2) シミュレーション教育研修会の実施に向けて、到達目標、運営に関する検討事項
- (3) 研修会実施後のアンケート結果を踏まえ、看護学部FD研修会の企画立案に関する事項
- (4) 企画に基づく予算申請に関する事項
- (5) 次年度開講科目について、各授業の目標達成に向けたシラバス内容の確認事項

② 実施状況

a 実施内容

<全学>

- ・合同研修会
- ・SD研修会
- ・人権研修会

<看護学部>

教員の資質の維持向上に向けて、教員の教育力・研究力の向上をサポートとして、科研費申請ならびにシミュレーション教育研修を下記のように計画し実施した。

【科研費申請に関する研修】

令和2年9月2日実施。文部科学省研究費の申請にあたり、申請書の記載において工夫した点や留意事項等（倫理的配慮を含む）の実際を教員相互で学び合い、採択される申請書の作成にむけて情報共有を図った。

【シミュレーション教育研修】

(1) 第1回シミュレーション研修 令和2年10月8日実施。「シミュレーション教育の実践に向けたシナリオ展開演習」をテーマに老年看護学および成人看護学領域が作成しているシナリオの一部を模擬授業形式で展開し、教員間討議と講師の助言を受け学生のレディネス・看護学部のDP、CP、シラバス、単元を考慮したシナリオブラッシュアップのヒントを得た。さらに、シミュレーション教育におけるブリーファ、ファシリテーターの役割と指導スキルを共有することができた。

(2) 第2回シミュレーション研修 令和3年1月13日実施。「シミュレーション教育による実習展開（臨地実習を学内で補填する方法）」をテーマに、具体的な事例をもとに、学内での代替実習およびコロナ禍での実習の工夫や対応・学内実習案の修正点について多くの示唆を得た。

(3) 第3回シミュレーション研修 令和3年3月16日実施。「シミュレーション教育のカリキュラムに効果的な導入方法、授業科目におけるCP・DPとシラバスとの関連性、実際の演習の授業案と方法論および評価」をテーマに、シミュレーション教育モデルの具体的な提示の必要性について、具体例を通して教員間で教育活動を見直す機会を得た。また、コロナ禍を含めた今後の演習展開の示唆を得た。

b 実施方法

【合同研修会】

全教職員が一堂に会して年2回（各学期開始前）教職員能力開発と情報共有を図っている。

【SD研修会】

事務職員全員を対象とし、年1～2回の外部講師による研修を実施している。

【人権研修会】

全教職員を対象とし、年1～2回の人権研修を実施し、全学的に人権・同和教育等の推進をしている。

科研費申請・シミュレーション教育に関する研修の開催は、全看護学部教員が参加可能な日時を選び実施した。実際の授業内容・方法については、研修内容の活用を図るため、事前にシミュレーション教育案を各領域で話し合い、講義・演習等の具体的な展開方法を取り入れ実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【合同研修会】

令和2年度は、夏学期合同研修会として令和2年3月27日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により資料配布のみとした。また、冬学期合同研修会については、令和2年9月3日開催し、動画視聴も含め専任教職員245名が参加した。

【SD研修会】

令和2年度は、令和3年2月25日に外部講師を招き、「和の精神は実践できているか～アンコンシャス・バイアスからの視点～」をテーマとした研修を実施した。動画視聴を含み、103人が参加した。

【人権研修会】

令和2年度は、令和3年2月に動画視聴及び資料配布による同和問題の人権研修を実施した。教職員192名が参加した。

【科研費申請に関する研修】

令和2年9月2日実施（28名の教員が参加）文部科学省研究費の申請にあたり、申請書の記載において工夫した点や留意事項等（倫理的配慮を含む）の実際を教員相互で学び合い、採択される申請書の作成にむけて情報共有を図った。

【シミュレーション教育研修】

- (1) 第1回シミュレーション研修：令和2年10月8日実施（看護学部教員24名が参加）
- (2) 第2回シミュレーション研修：令和3年1月13日実施（看護学部教員24名が参加）
- (3) 第3回シミュレーション研修：令和3年3月16日実施（看護学部教員27名が参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全学的に遠隔及び対面にて授業を実施した。多くの教員においては、初めての遠隔授業であり、課題等が多く挙げられたため、合同研修会にてICTを活用した授業の改善点、新たな課題等を共有した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和元年度1年次生・令和2年度2年生に対しては、指定規則の教育内容教育課程を全て予定通りに実施した。各授業終了時に、QRコード等を利用した記名でのリアクションペーパーの記載を実施（授業内容・方法に関する質問や意見、授業を受けた感想等を記載）。学生の記述を通して、授業での戸惑いや不安、授業への意欲や授業内容に関する理解・疑問点を含む意見を得て、知識の理解レベルの把握に役立っている。また、次の授業時に学生の質問に対するフィードバック、回答や補足説明が必要な内容については授業内容に含めたりするなど、即時的に教育内容に反映している。各学期の終了時には、各科目への授業評価アンケートを受け、次年度への改善に役立っている。

全学的な授業評価アンケートは、各学期終了時に実施している。令和3年度についても実施を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、具体的な実施方法については検討中である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

リアクションペーパーの記述内容は、個々の学生の成績評価に影響しないことを保証し、また学生の了解を得て複数の担当教員間で共有し、教育内容・方法等の検討資料としている。また、記述内容が授業改善に向けて、どのように反映されているかを含め、次の授業時間でフィードバックを行い、学生からの情報発信を支援するツールとして用いている。リアクションペーパーの取り扱いについては、効率的な学習状況の把握および出席管理を兼ねて用いていることから記名としているが、公表を希望しない場合は、その旨を申し出るよう併せて説明を行なうなど、学生の個人差を配慮しながらプライバシーの確保に努めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

四天王寺大学の教育理念は、聖徳太子の敬田院設立の精神（仏教精神）を基本とし、「すべての人が、他者および自身の善さを信じ、自らすすんで宗教的情操を涵養することで人格の陶冶を図りながら、広範にして深い知識と高い技術・技能を修得し、理想的な世界についての未来像を描き、その実現のための強い意志を鍛える修行を行う」ことである。その中で、看護学研究科は、看護の独自性・専門性を追求しつつ、多様化・複雑化している人々と社会の看護のニーズにこたえるために、研究遂行のための基礎的能力と高度実践能力を有する人材を育成する。

教員は計画通り全て着任し、建学の精神をはじめ、教育・研究の目的、3つのポリシー等の理解を深めており、定員も3名に対して入学者3名と確保している。

新年度に入り、新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言発令され、講義（授業）をはじめとする教育研究活動は遠隔授業等の実施により進めており、履修指導、学生支援体制も万全を期し取り組んでいる。経済的な緊急支援体制も整え、今後も設置計画を確実に履行すべく努力を積み重ねていく。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

令和元年度 . . . 「自己点検・評価シート」を令和元年6月に公表

令和2年度 . . . 「自己点検・評価シート」を令和2年9月に公表

令和3年度 . . . 「自己点検評価書」を令和3年9月に公表予定

###### b 公表方法

令和元年度 . . . (学内・学外) 「自己点検・評価シート」をホームページに令和元年6月掲載

令和2年度 . . . (学内・学外) 「自己点検・評価シート」をホームページに令和2年9月掲載

令和3年度 . . . (学内・学外) 「自己点検評価書」をホームページに令和3年9月掲載予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審予定

(現在の認証期間は、平成27年4月1日～令和5年3月31日)

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。